

【丸亀支部 活動報告】

学びを人生や社会に生かそうとする生徒の育成

～主体的・対話的で深い学びを考えるメディア教育の推進～

1 はじめに

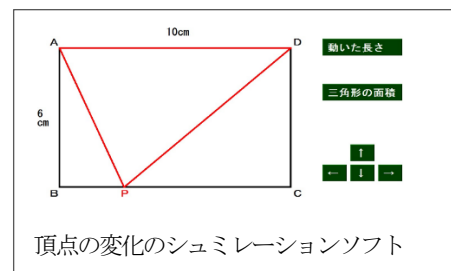
メディア教育研究部会は、本年度は研究会や研修会を実施することができなかったため、各学校でのメディア実践事例の報告を紹介する。各校が休校期間中や授業内、研修に積極的に ICT の活用を進めている。

2 研究実践

(1) 各中学校取り組み・実践報告

① 東中学校

大型テレビを活用し、各教科で資料や映像の提示を行っている。数学科や美術科ではパワーポイントを活用した動的な教材の開発を行い理解しやすい工夫を行っている。体育科でのタブレットの活用をしているが、他教科で十分に活用することが課題である。



② 西中学校

道徳科、数学科、技術科で教材の提示などに積極的に活用している。教科外でも平和学習に DVD や動画を提示するなど活用を進めている。タブレットの活用が進められていないのが課題ではあるが、体育科で使用するなど取り組みを続けている。

③ 小手島中学校

PC や大型テレビなどを活用して、ほとんどの教科で動画や教材の提示を行っている。本島中学校と ZOOM を利用した交流学习や自己紹介を行った、今後も定期的に開催を予定である。

④ 本島中学校

生徒 1 人 1 人に PC があるので、ほぼすべての授業で調べ学習をしたり、教材や動画の提示などで活用したりしている。また ZOOM を用いた他校との交流をするなど積極的な活用を進めている。アプリケーションソフトのスキルの習得が今後の課題である。

⑤ 綾歌中学校

臨時休校時にメディアの研修を行ったり、研究授業の指導を県教育センターとオンラインで行ったり研修の場でも ICT の活用を進めている。感染症予防のため集会の代わりに、生徒集会や朝礼には放送を活用している。



⑥ 飯山中学校

大型テレビを用いた教材や資料映像の提示を各教科で行っている。特に理科や体育ではタブレットと教室内の wifi 環境を利用し動画の閲覧など活用の幅が昨年度より広がっている。休校期間中にはスマホを用いた動画撮影と編集など教員側がメディアを積極的に活用できるよう校内で研修を行った。

3 今後の課題

各校の報告で、特にタブレットの活用に課題が見られた。教室間の移動や wifi セッティング等に時間を要したり、タブレットの OS の使い勝手が悪かったりという指摘もあった。またインストールされているグループウェアの内容についても校内で活用できる教員が少ないなど問題点が多い。今後、より積極的な活用を図るためには、機器の活用技術の習得のための研修や、効果的な活用方法の模索など、スマートフォン感覚で誰にでも扱えるよう取り組むことが必須であると考えられる。